

あかぶちじんじやろうもん
121. 赤淵神社楼門

■ 指定日

平成21年8月25日

■ 種別

有形文化財 建造物

■ 年代

江戸時代

■ 所在地

朝来市和田山町枚田

■ 所有者

赤淵神社



■ 内容

楼門は、かつて赤淵神社の神宮寺だった神淵寺の山門であったもの。
創建年は不詳。現在の門は、文政13年(1830)に多数の喜捨により再建されたものである。
威風堂々としたたたずまいで、随所に丹波柏原の彫刻師中井権次による見事な彫刻が施されている。2階には高欄を巡らし、内部にはかつて大般若経が納められていた。
この門をくぐると除疫福德の効があると伝えられる。